

経営比較分析表（令和元年度決算）

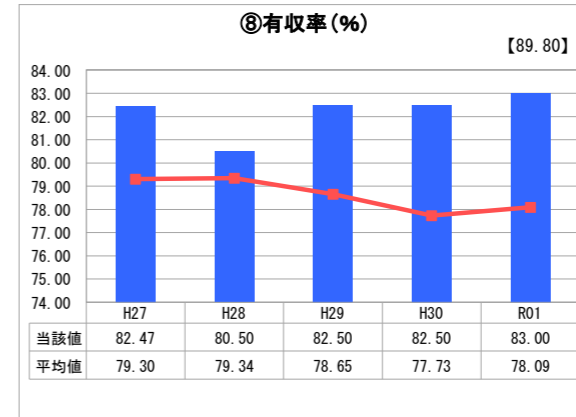
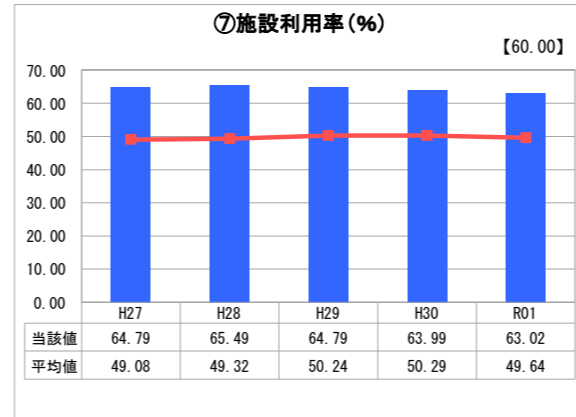
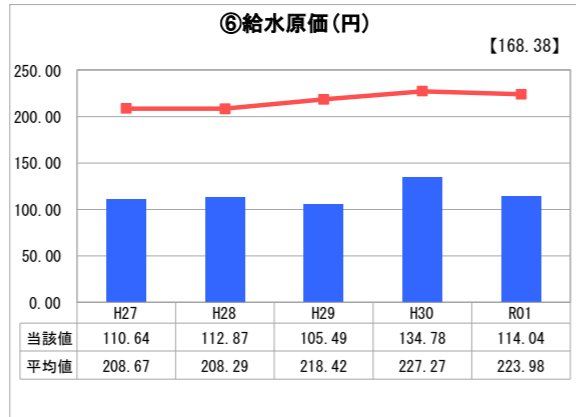
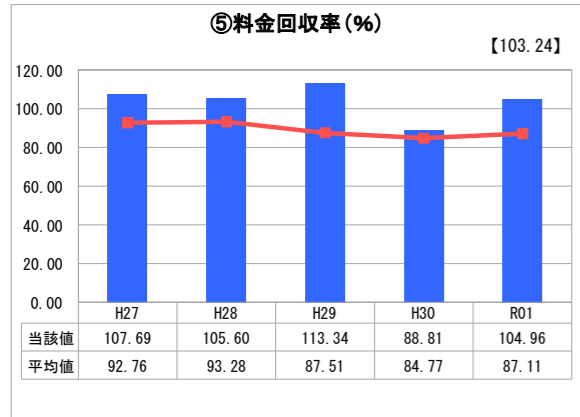
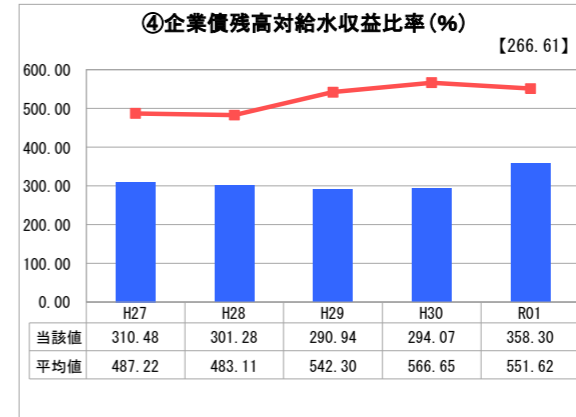
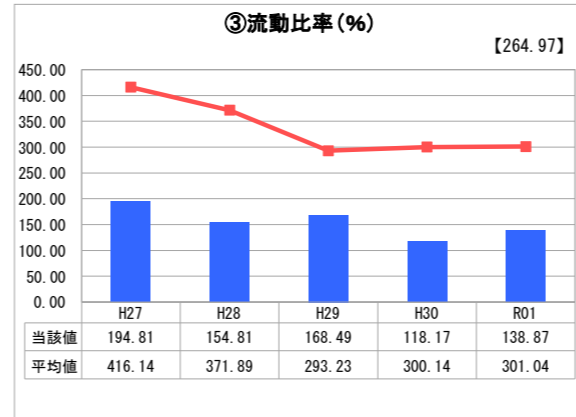
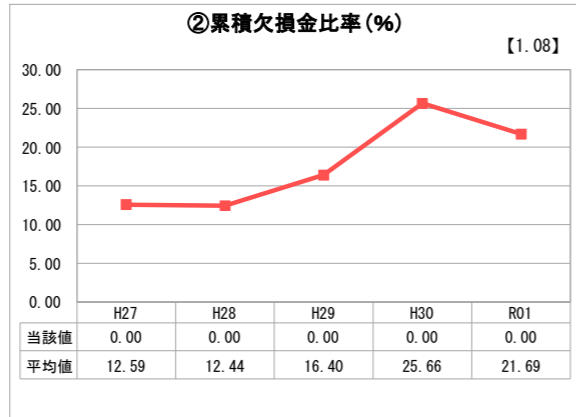
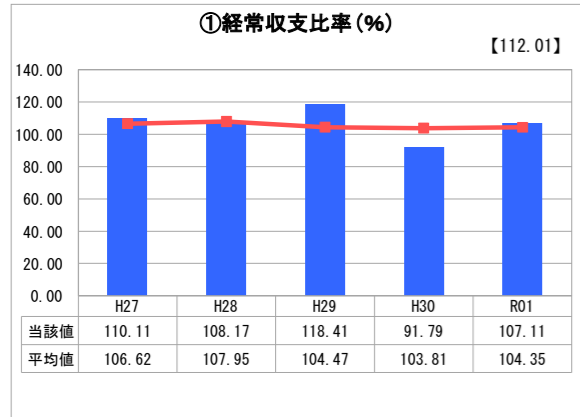
宮崎県 綾町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	40.34	94.14	2,460	

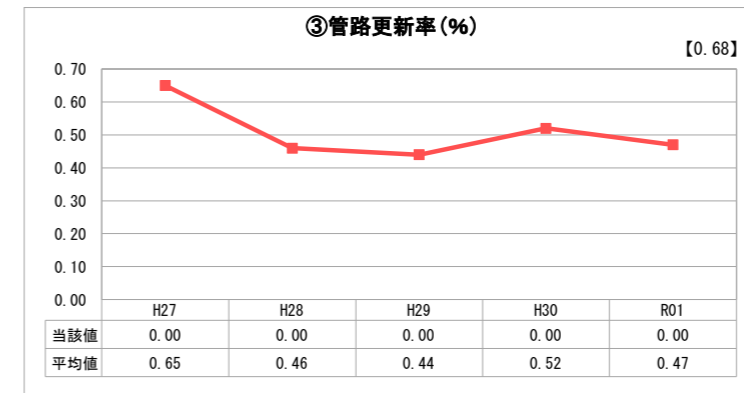
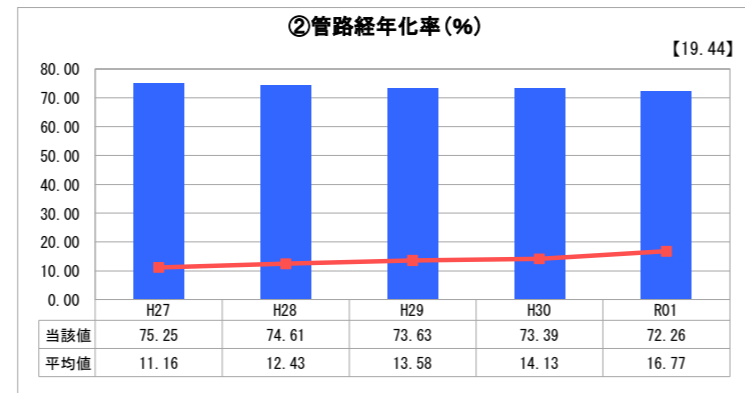
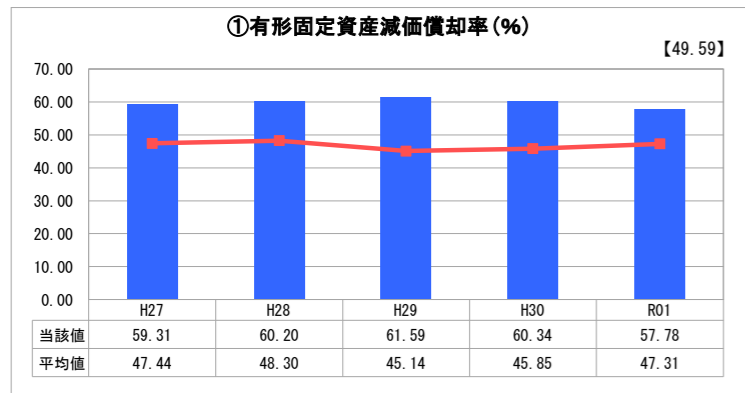
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,318	95.19	76.88
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,812	12.30	553.82

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率
水道施設更新等基本計画（平成30年度策定。以下、基本計画という。）策定業務委託費等の臨時的な費用が発生したことにより、平成30年度は一時的に100%を下回りましたが、令和元年度は100%を超えており健全性が保たれています。

② 流動比率
100%を超えているため、支払能力に問題はありますが、安定した経営を続けるため料金改定が必要です。

④ 企業債残高対給水収益比率
類似団体と比べて低水準で推移していますが、基本計画に基づく施設更新に伴い、企業債残高は、令和元年度末の約3億円から、基本計画の終期となる2050年度末には約12億円まで上昇する見込みとなっています。

⑤ 料金回収率
100%を下回った年もありますが、一時的なもので問題はありません。しかし、施設更新に伴う企業債償還金等が今後増加する見込みであるため料金改定が必要です。

⑥ 給水原価
類似団体と比較すると低い状況にありますが、水道施設の老朽化により修繕費や動力費等は増加傾向にあります。そのため、施設更新を年次的に進めるとともに、入札による動力費の圧縮等に取り組んでいます。

⑦ 施設利用率
類似団体と比較すると施設利用率は高い状況にあり、規模は適正です。

⑧ 有収率
漏水対策により比較的高い状況で推移していますが、老朽化が進んでいるため、抜本的な対策（更新工事）が必要です。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
経年管の更新が進んでいないため、有形固定資産減価償却率は高い状況にあります。

② 管路経年化率
多くの水道管が耐用年数を超えている状況にあるため、令和元年度に行った送水管更新工事を皮切りに、水源地や中継ポンプ場などの機械設備の更新や、耐震適合管への切り替えなど基本計画に基づく更新工事を行っていく予定です。

全体総括

綾町水道事業経営戦略（平成29年度策定）では、経営戦略期間中（平成30年度～令和9年度）に料金改定することが必要としており、仮に平成30年度及び令和5年度にそれぞれ14%の料金引き上げを行った場合、経営戦略期間における赤字は回避できると予測しています。

料金改定の時期については、現在のところ経常損益が黒字を保っているため延期している状況ですが、できる限り早期に料金改定に向けた取り組みに着手する予定としております。